



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行
 釧路市連合町内会
 〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
 釧路市役所内
 電話 0154-31-4255
 直通電話・Fax 0154-23-2101



＝第15回＝ ー 高齢化時代・健康寿命を考える(5) 頭痛の話②ー

ドクター磯部の 処方箋

コロナの扱いが、インフルエンザと同様になりましたが、でもまだ、うつる可能性はあるので、人込み・密接状況などでは注意です。

今回も頭痛の話です。病院の承認も得られて、間もなく、頭痛外来開設をします。当院ではこれまで、頭痛の診療、治療をしてきましたが、改めて皆様に我々が頭痛の専門でもあることを知って頂き、受診しやすくなればと思います、開設を考えました。

さて、症状別ランキングで上位に入る頭痛ですが、普通は痛み止めを飲んで治す、我慢するものでしょうが、痛みがつかつたり、心配な方は、病院受診をして頂き易くなり、また治療先を探して札幌、帯広に行かずに、釧路で診療できることをお伝えしたいと思います。

頭痛診療の最大の目的は、脳の病気の有無（二次性頭痛）の確認です。脳腫瘍、頭蓋内血腫、動脈解離、切迫破裂瘤（出血直前）を、画像検査（CT、MRI/MRA）で確認します。未破裂脳動脈瘤、モヤモヤ病、動脈奇形も分かれます。もしあれば当然的確に対応していきます。

幸い画像検査で異常が無かった場合は、一安心ですが、原因分類では一次性頭痛です。

一次性頭痛は、風邪症状としての頭痛の他に、片頭痛、緊張型頭痛などがあります。これらの対応に差があ



釧路労災病院
 脳神経外科部長
 磯部正則

ります。忙しい一般脳外科医は通常の痛み止めを処方して終わることもありますが、それで治らない場合は我慢するのですが、当科では、心を入れ替えて、頭痛の痛みの治療、特に片頭痛の相談を行うことにしています。もちろん、一次性頭痛の髄膜炎、脳脊髄液減少症にも対応します。

緊張型頭痛は症状別ランキング上位の肩首こりと関連があり、肩こりをほぐす処方の追加などで治療します。痛み止め単独よりも有効です。

片頭痛は前駆症状後に片方がズキズキ痛い場合だけではなく、痛すぎて吐き気を伴い音光刺激を避けたいのが特徴で、仕事や生活に支障が出ることも多く、眼症状を随伴しないことも多いです。一般鎮痛薬単独でできない場合、誘因の確認の他、専用の鎮痛薬、予防薬、またかなり予防効果がある注射薬も用意しています。初めは短期間でも、進行して慢性化することもあります。また悪化して多剤服用してさらに悪化することも多いので、早期の治療がよさそうです。

片頭痛は若い女性が多いのですが、高齢者の方も片頭痛のことがあります。頭痛外来は、専用枠も設けますが、一般診療枠でも行います。まずは、MRIなどの画像検査は必須で、一次性頭痛の分類を、問診票、診察で確認、治療（自己治療、薬治療、注射薬治療）の相談を行います。